

1. 議 事 日 程 (6 日 目)

(平成27年那智勝浦町議会第 1 回定例会)

平成27年 3 月 19 日

9 時 開 議

於 議 場

日程第 1	平成26年議案第40号 町道の路線変更について (建設常任委員会継続審査要求) .....	320
日程第 2	常任委員会報告.....	320
日程第 3	委員会所管事務調査継続調査要求.....	327
日程第 4	閉会中の継続調査要求.....	328
日程第 5	議員派遣について.....	328

2. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1 番	左 近 誠	2 番	荒 尾 典 男
3 番	下 崎 弘 通	4 番	森 本 隆 夫
5 番	蜷 川 勝 彦	6 番	湊 谷 幸 三
7 番	田 中 幸 子	8 番	東 信 介
9 番	松 岡 大 輔	10 番	山 縣 弘 明
11 番	中 岩 和 子	12 番	引 地 稔 治

3. 地方自治法第121条第 1 項により説明のため出席した者の職氏名 (16名)

町 長	寺 本 眞 一	副 町 長	植 地 篤 延
教 育 長	森 崇	消 防 長	塩 崎 文 二
参 事 (総務課長)	城 本 和 男	参 事 (教育次長)	瀧 本 雄 之
総務課新病院 建設推進室長	浪 花 潔	会 計 管 理 者	田 代 雅 伸
病 院 事 務 長	喜 田 直	税 務 課 長	久 葛 章 功
住 民 課 長	玉 井 弘 史	福 祉 課 長	大 江 政 典
観 光 産 業 課 長	松 下 安 孝	建 設 課 長	橋 本 典 幸
水 道 課 長	藪 根 敏 夫	総 務 課 副 課 長	矢 熊 義 人

4. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名 (3名)

事 務 局 長	伊 藤 善 之
事 務 局 主 査	寺 地 強
事 務 局 副 主 査	疋 田 晋 一

~~~~~ ○ ~~~~~

9時00分 開議

〔4番森本隆夫議長席に着く〕

○議長（森本隆夫君） おはようございます。

ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 平成26年議案第40号 町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）

○議長（森本隆夫君） 日程第1、平成26年議案第40号町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）を議題とします。

建設常任委員会から引き続き審査研究を行う必要があるため次の定例会までの継続審査の申し入れが議長宛てに届いております。

お諮りします。

委員会から申し出のとおり、次の定例会までの継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、委員会から申し出のとおり、次の定例会までの継続審査とすることに決定しました。

休憩します。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時00分 休憩

9時32分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 常任委員会報告

○議長（森本隆夫君） 日程第2、常任委員会報告を行います。

総務常任委員長より報告を求めます。

10番山縣君。

○総務常任委員長（山縣弘明君） それでは、総務常任委員会報告をいたします。

3月13日開会、出席委員は森本、左近、下崎、東、松岡委員と私山縣の6名です。

消防署から。

平成26年4月1日から平成27年2月28日までの火災件数は10件。同期間の救急出動件数は962件で、うち搬送人員は910名。このうち町立温泉病院への搬送は64%、新宮市医療センターへは31%、ドクターヘリの出動件数は9件。なお、年齢別の救急搬送人員は60歳以上が696名

と多く、平均年齢は72.2歳とのこと。

防災学習については、新宮東牟婁PTA連合会の防災講演会が学校関係者、保護者ら61名の参加のもと、12月6日に開催。2月6日には下里中学校にて全校生徒82名と保護者1名のもと開催。今年度の防災学習は、小・中学校では合計11回開催され513名の児童・生徒と一般239名が受講した。

独居老人訪問指導については、70歳以上1,667名を対象とし、女性消防団員の協力も得ながら訪問、全て終了したとのことでした。

続きまして、教育委員会の関係。

まず、森教育長より、色川小中学校の校舎建設について、私どもの説明不足などから議会の了解が得られなかった。昨年12月9日に開催された県の学習到達度調査の結果、小学校4、5、6年生は、ほぼ県平均並みだったが、中学校1、2年生は国が行う学力・学習状況調査とともに厳しい結果となった。紀の川市や川崎市で発生した大変ショッキングな事件に関連して教育委員会としても情報共有体制の徹底を図っていききたいなどのお話がありました。

また、瀧本次長からも、色川小中学校の新校舎建設予算が否決されたことについて陳謝、森本議長からも注意を受けた、次の定例会で補正を上げさせていただきたい、事前に総務委員会で説明をさせていただきたいと述べられ、昨年3月1日に設置された色川小中学校新校舎建築検討委員会から、ことし3月5日に開催された検討委員会までの経緯を時系列でまとめられた資料と平面図が配られました。委員からは、今後将来の全小・中学校における児童・生徒数の見込みを提出してほしい。色川地区の年齢別構成データを提出してほしいなどの要望がありました。

学校教育課からは、まず児童・生徒数についての報告があり、26年度当初に比べ市野々小学校は2名減、勝浦小学校は4名減の一方で、色川小学校、下里小学校はそれぞれ1名増とのこと。中学校では、那智中学校が1名減とのことでした。

また、全国学力・学習状況調査と県学習到達度調査の結果について。小学校は県、全国平均並みだったものの、中学校は平均を下回る大変厳しい結果となった。この結果を保護者の方々とも共有をし、家庭学習も含めて一緒に考えていきたいなどの報告がありました。

ふるさと学習の推進について。主に市野々小学校と勝浦小学校による世界遺産学習について、下里小学校、宇久井中学校による海洋教育の推進について、また、下里小学校の平成26年度ふるさと学習大賞受賞について報告がありました。

また、平成27年度に予定されている事業として、指導主事の増員、学校司書の配置、教育相談窓口の開設などの報告がありました。

生涯学習課の関係では、2月15日に開催された市町村対抗ジュニア駅伝競走大会や2月28日に開催された歴史から学ぶ防災講演会、那智の扇祭が重要無形民俗文化財に指定されたなどの報告がありました。

なお、今後の予定として、第2回那智勝浦町ニュースポーツフェスティバルが3月21日に教育センターで、第4回なちかつ未来塾が4月10日に図書館で開催予定などの報告がありまし

た。

総務課の関係。

ふるさと納税について。平成26年度2月末現在のふるさと納税収納状況は2,998件で約4,167万円と大幅増。お礼銘品は約1,473万円とのこと。お礼銘品の枠について今後は4,000円から5,000円に変更し、宿泊割引券も検討中とのこと。委員からは、1万円までの枠まで引き上げるべきでは、商工会や旅館組合にも働きかけ各業者にもビジネスチャンスとして取り組んでほしいなどの意見がありました。なお、3月末までは4,300万円の収納が見込まれるとのこと。

県市町村における給与の総合的見直しに係る現給保障について。29町村のうち27町村が3年間を現給保障機関とし、無期限、なしはともに1町とのこと。

防災関係では、県が10月28日に発表した避難困難地域と津波対策に関する説明のほか、市野々小学校の避難所再指定が決まった。体育文化会館は避難所として指定しないが報告。委員からは朝日区の避難困難地区に関する質問が出されました。

以上で総務常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 次に、厚生常任委員長より報告を求めます。

6番湊谷君。

○厚生常任委員長（湊谷幸三君） それでは、厚生常任委員会報告を行います。

平成27年1月27日火曜日です。9時半に委員会を開会いたしました。出席者は委員5人と担当課でございます。

所管事務調査、病院の経営状況及び診療体制についてでございますが、年末年始にかけて看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床検査技師の募集をいたしましたが、応募者が一人もなかったということでもあります。

次に、医師の確保については、12月末までの分として和医大に要請依頼をしているとのことでもあります。これは文書による要請依頼でございます。

次に、地方公営企業法の改正による会計基準の変更により退職給付金引当金と過年度における経理誤りの修正によるもの約8億4,000万円を欠損にする予定としているという、その結果、平成26年度期首の累積欠損金は4億8,842万7,000円となるということです。8億4,000万円の内訳は、繰入資本金の一部、組入資本金の全部、剰余金のうち国庫補助金、県補助金、他会計負担金の全部であるということでもあります。

次に、環境衛生施設の実態についてでございます。

1月9日、大浦浄苑の旧管理棟で本町4名、太地町4名、大浦浄苑2名で協議した結果の報告を受けました。概算で、那智勝浦町、太地町の両町とも焼却しないで15年間町外搬出処分を行った場合、本町は38億800万円、太地町は6億4,800万円となるということです。一方、クリーンセンターの年間維持運営経費を1億6,800万円とし――運営費は、これ新クリーンセンターでございますが――運営費に15年間で、本町は21億6,000万円、太地町は3億6,000万円となります。これを単純にこれをもとに計算すると、新クリーンセンターの建設負担の上限は本町

が17億2,800万円、太地町は2億8,800万円となります。単独で焼却炉を設置した場合、15年間で本町は39億6,000万円、太地町は11億4,000万円となるということであります。また、利益を分かち合うことを基本に調整した建設費の割合は本町80.3%、太地町19.7%と示されました。これに一般会計の割合等も考慮して、協議案は均等割8%、人口割92%となったということでございます。これは協議案です。一方、協議案では、単独と比較して、本町では15年間で4億9,900万円、太地町は4億8,000万円程度費用の減額となるという試算も出ております。なお、利益を分かち合うことを基本に調整した建設費の割合は均等割率を11%とした場合の負担比率とほぼ同じくらいになります。このため費用の負担については今後もよく議論を尽くすという意見が多かったように思われます。

次に、国民健康保険税関係についてでございます。

前回の会計報告では、県への移管は平成29年度からとなっておりますが、平成30年度となる見込みだそうでございます。その他については、前回報告と変わりはありません。

次に、介護保険制度の状況についてでございます。

第6期の第1号被保険者の介護保険料については、昨年5月から医療や福祉関係の代表者や被保険者の代表者等から成る那智勝浦町長寿社会づくり委員会において審議をしております。1月8日に委員会としての意見を取りまとめております。その結果、基準額は5,786円とし、保険料の段階は国に合わせて9段階とすることで承認をしております。第5期の基準額は4,200円でしたので、1,586円の上昇となります。ちなみに、平成26年度末の基金の残高見込み2,000万円を取り崩すことについては、団塊の世代が10年後75歳となり施設入所をし出したら給付費はますますふえて保険料が高くなる。そのときのために基金を置いておくほうがいいのではないかとの意見もあり、全会一致でこの基金を取り崩さないということになったそうでございます。また、新型インフルエンザ等対策行動計画についても再度説明を受けました。

次に、3月13日午後1時30分から厚生常任委員会を開会いたしまして、出席者は委員全員と担当課でございます。

所管事務調査、病院の経営状況及び診療体制についてでございます。

3月31日付で医師が1名、看護師が2名、これは自己都合により、医療技術員1名も自己都合により退職予定となっております。4月1日付で医師が1名、新卒の看護師が2名、レントゲン技師が1名、理学療法士が2名採用の予定であるそうでございます。小児科の中野医師が病気療養中のため休診となっております。再開のめどが立っていないということです。眼科の診察日が4月から火曜日の午後と木曜日の午後の2診察日となるということであります。12月に医局の都合により、退職となっております医師の補充の予定が4月となっておりますが、医大の救急部での研修が必要との理由で赴任が数カ月おくれるということでございます。

次に、経営状況ですが、1月累計で入院収益は8億3,172万9,267円で、前年との差は1,293万5,991円の増となっております。一方、外来収益は5億6,757万1,469円で、前年との差

は、これも709万3,935円の増となっております。病床稼働率は74.6%で、前年より1.4%改善されています。一方、医業費用は12億9,143万8,981円で、前年より2,786万1,050円増加しております。医業外費用も115万8,807円ほどふえております。

次に、環境衛生施設の実態についてでございます。

現クリーンセンター関係についてでございます。バグフィルターの交換をK E E環境工事株式会社にて実施しており、2号炉については2月20日に終了しております。1号炉についても3月2日から3月27日の予定で交換を実施中であるということでございます。

次に、新クリーンセンター関係についてでございます。ごみ処理施設整備基本計画の素案から見直した4点の説明がありました。計画目標年次は新施設の竣工は平成29年度の予定でありましたが、平成30年度に変更になっております。ごみ処理基本フローでは、粗大ごみについては当初両町の施設で処理をして焼却するとしておりましたが、計画施設の前処理施設で破碎後、焼却処理をするということに変更しております。雑設備についても動物用焼却炉を新たに設けることにいたしました。ほかにガス化溶解式という表現に改めたところもあります。

次に、ごみ処理施設整備基本計画では、平成30年度に新施設が稼働開始となっていて、現クリーンセンターの期限協定では外部処理が余儀なくなる中で、町長を先頭に天満区の理解を得る努力をするよう要望いたしました。施設の概要、負担割合等、議論を尽くす必要があり、委員会としても今後もこのことについては調査を重点的に続けていくということになります。

福祉施設の実態についてでございます。

南紀園についてでございます。本年2月末日の特別養護老人ホームの本町からの入所者は51名、養護老人ホームへの本町からの入所者は6名であります。園内における傷害事件についても報告がありました。それによりますと、本年2月4日に養護老人ホームにおいて入園者間の傷害事件が発生いたしまして、いずれも男性でございます。同日加害者が傷害容疑で逮捕されました。両名ともこのことにより園を退所処分となっております。しかし、環境的にも経済的にも自立生活が困難のため、他の施設へ入所させるための手続中とのことであります。

介護保険制度の状況についてでございます。

第1号被保険者数は本年2月末現在、65歳以上75歳未満が3,001名、75歳以上が3,340名の合計6,341名であります。認定者数は要支援1から要介護5まで合計1,219名となっております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○議長（森本隆夫君） 次に、経済常任委員長より報告を求めます。

8番東君。

○経済常任委員長（東 信介君） それでは、経済常任委員会報告をさせていただきます。

開催日は3月13日9時30分より開催し、出席者は委員全員と担当課です。

最初に、商工業の振興について。

セーフティーネット保証5号、これは中小企業信用保険法第2条第5項第5号で11月から2月の認定件数は1件。

次に、第20回商工祭南の国の雪まつりについて。2月15日に開催し123店舗の出店があり3

万700人の来場がありました。委員からは、天満地区との祭りの関係について調整を求める意見がありました。

次に、プレミアム商品券、これは地域住民生活等緊急支援事業の一環で27年度実施し、南紀くろしお商工会が主体でプレミアム商品券、これは1セット13枚を1万円で1万3,000円分の商品券が3,000セット販売予定です。委員からは、地域経済振興にも気を配ってとの意見がありました。

次に、観光の振興について。

平成26年度観光動態について。26年度は25年度に比べ0.8%の減で、要因といたしましては、4月からの消費税増税、7月、8月、10月の集中豪雨、台風の接近とのことです。現在までの経過、和歌山destinationキャンペーンの実施効果の報告があり、県平均では7.7%の増ですが、那智勝浦町は2.7%の減との報告がありました。

次に、第21回まぐろ祭りが1月13日に開催され、まぐろの即売、振る舞い、産品販売などが行われ、来場者は1万3,000人とのこと。

次に、まぐろ出前解体。2月5日、東海和歌山県人会懇親会にてまぐろ出前解体、名古屋で開催される和歌山県人会懇親会にてマグロを解体し、参加者が120名とのこと。2月22日、出版社関係向けまぐろ出前解体、これは東京で開催され、有名漫画家及び出版関係者にマグロを解体をし参加者100名とのこと。

次に、熊野エリアプロモーション。熊野エリア観光推進実行委員会が主催で愛知県刈谷市の刈谷ハイウエーオアシスにて実施し、ペア宿泊券が当たる抽せん会などを実施し、2日間でパンフレットを3,000枚配布したとのこと。

次に、大阪学院大学硬式野球部が昨年に引き続き来町。これは通算10回目だそうです。約60人が2週間、町内のホテルに宿泊しグリーンピア野球場で練習されたとのこと。

次に、今後の予定について。ご当地うまいもんフェスタ in 勝浦、これは3月21日土曜日、22日の2日に開催されるとのことですが、委員からは、告知に対してこれまでの反省が生かされていないとの意見がありました。

次に、那智勝浦まちなかジオツアー那智編について。これは二の滝、三の滝をめぐるツアーとのこと。

次に、地域住民生活等緊急支援のための交付金地域消費喚起・生活支援型でふるさと旅行券事業で2,025万円、地方創生先行型で観光プロモーション実施事業で1,100万円、多言語表示板作成事業で475万5,000円、外国人対応案内パンフレット作成で300万円、AGT向け観光バス助成事業で400万円、大手出版社雑誌の別冊情報誌発行で400万円、本宮－勝浦間直行バス運行で300万円との報告がありました。

次に、農林業の振興について。

農林業関係で災害復旧事業、台風12号の林道施設災害復旧事業、これは平成23年から25年度分で8カ所10件、工事完了です。次に、台風18号の林道施設災害復旧事業、これは平成25年9月15日の台風18号による被害のもので林道大戸妙法線災害復旧事業工事完了とのこと。台風

12号の町単独災害復旧工事26年度分ですが、57件5,047万円の執行済みとの報告がありました。

次に、鳥獣害対策関係で、鳥獣害の捕獲実績で鹿692頭、イノシシ134頭、猿151頭、アライグマ33頭、アナグマ3頭、タヌキ1頭との報告がありました。

次に、多面的機能支払いで農業基盤の維持管理及び農地の多面的機能の発揮に資する活動に対して、国2分の1、県4分の1、町4分の1の補助をし、太田及び下里の農業者540名が対象で広域な農地、農道、水路等の維持保全が行われるとの報告がありました。

次に、野菜花き産地総合支援事業で野菜花きの近代化設備の導入に対して、県3分の1、町3分の1の補助。本町ではイチゴの高設栽培装置の導入に補助を行いました。事業費は314万5,520円で、うち104万7,000円の補助です。これはくろしおイチゴ生産販売組合9名に対しての補助で、イチゴの高設栽培装置4アール、高設育苗装置1.7アール、これは導入効果は病害防止、品質向上、作業性向上との報告がありました。

林業振興について、委員から、紀州備長炭を生かした林業振興の人材育成などについての意見が出ました。

次に、水産業の振興について。

マグロの水揚げについて。マグロ船の入港数は減少ですが、水揚げ量はふえたとのことで、マグロの水揚げ率が好調とのことです。

次に、勝浦まぐろ資源を考える会が1月29日、勝浦まぐろ資源を考える会設立総会が開催されたとのことです。

以上で経済常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 次に、建設常任委員会副委員長より報告を求めます。

6番湊谷君。

○建設常任副委員長（湊谷幸三君） それでは、建設常任委員会報告を行います。

委員長が都合により欠席されておりましたので、私副委員長でございますので、私が委員長の代役を務めましたので委員会報告も副委員長の私がかかわって報告をいたします。

3月13日午前9時30分に委員会を開会いたしまして、出席者は委員5人と担当課でございます。

所管事務調査、水道事業についてでございます。

まず初めに、工事発注状況ですが、上水、簡水、災害復旧事業、それに那智勝浦道路関連による移設工事は全て完成しております。平成25年度繰り越しの簡易水道統合整備事業のうち、太田川取水・浄水・導水施設築造。建築施設でございますが、その工事と本年度予算の簡易水道統合整備事業は工期内完成に向けて事業が行われている最中であります。

次に、本年1月分の有収率は簡水で74.0%、上水で64.2%となっています。上水の内訳は、市野々浄水場で65.3%、太田川浄水場は60.8%、宇久井浄水場は80.5%となっています。昨年視察を行いました射水市の場合、有収率が90%を超えていたので有収率の向上をお願いしましたが、老朽管の布設替工事が必要となることから、次回までに老朽管に関する資料等、布設が



えに要する概算の費用を示す資料を要求いたしております。

次に、建設課より報告がありました。

前回建設常任委員会以降の入札関係ですが、平成26年12月22日に3件、下里、宇久井中学校の空調設備だそうでございます。同日1件、色川小中学校の設計、これは1,674万円で清水設計事務所が落札したということでもあります。平成26年12月24日、井谷線1件、井谷線地すべり設計。平成26年12月26日、5件、道路改良3件、江川樋門、防火水槽でございます。次に、平成27年1月26日、3件、那智中学校の外構工事。平成27年2月9日、6件、舗装3件、江川樋門、塗装、排水路ということになっております。平成27年2月12日が2件、色川小学校の解体と庁舎高圧受電装置の改修でございます。

次に、災害関係でございます。

町発注分は台風12号関係で46件を発注して44件が完成、2件繰り越しで工事中。県発注分は106件で、そのうち103件が完成、3件が工事中で、その内訳は那智川と太田川と大谷橋でございます。国交省発注の砂防堰堤8溪流9カ所のうち8カ所が工事中で、那智川の下流側の堆積工は着手予定ですが、上流側の堆積工については着工が未定であるということでもあります。

国交省関係では、那智勝浦道路川関一市屋間は9月の国体開催までに供用開始と正式に発表があったということでもあります。

次に、近畿自動車道紀勢線すさみ一太地間については、串本一太地間は平成27年度中の事業化は見送られる見込みだそうでございます。

次に、県関係でございます。県道那智山勝浦線歩道整備は市野々地区の用地交渉中。県道長井古座線整備の施工延長が3.4キロメートルで、幅員は歩道2.5メートルを含めて10メートルとなっております。平成25年度で2件、平成26年度で15件の用地を買収済みだそうでございます。

次に、地籍調査でございますが、平成14年度から行っており、現在6.42平方キロメートル、1万619筆を管理をしております。進捗率は3.56%ですが、本町の平地の面積は22平方キロメートルですので、今後平地部分を調査するということになりますと30年ほどで、今の速度でやりますと30年ほどで完了できるということでございます。

津波の関係で海岸部を先にする予定だそうでございますが、このことについてもなるべく早く完了するように要望いたしております。

議案第40号町道の路線変更については、先ほど局長朗読のとおり町道の路線変更については継続審査となりました。

以上でございます。

○議長（森本隆夫君） 以上で常任委員会報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

### 日程第3 委員会所管事務調査継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第3、委員会所管事務調査継続調査要求を議題とします。

総務、厚生、経済、建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、その所管事務について引

き続き調査研究を行う必要があるため、次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

各委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、各委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 閉会中の継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第4、閉会中の継続調査要求を議題とします。

議会広報編集委員長から、議会広報編集事務について閉会中も引き続き調査を行う必要があるため、次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

議会広報編集委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、議会広報編集委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 議員派遣について

○議長（森本隆夫君） 日程第5、議員派遣についてを議題とします。

お諮りします。

閉会中の議会で議長及び議員が調査、会議等で必要な出張については議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、閉会中の議会で議長及び議員が調査、会議等で必要な出張については議長に委任することに決定しました。

お諮りします。

本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任することに決定しました。

これで本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成27年第1回那智勝浦町議会定例会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時11分 閉会

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 閉会に当たり一言御挨拶申し上げます。

平成27年第1回定例会は予定どおり本日をもって終了することができました。議員各位初め皆さんの御協力ありがとうございました。

提案されました議件は1件修正議案の上、全議案は可決されました。議件の提出に際しては確たる精査され、議会が審査に対応できるよう御配慮をお願いいたしておきます。

さて、今月末をもって番外席の水道課長藪根君、消防長塩崎君、教育次長瀧本君、観光産業課長松下君、総務課新病院建設推進室長浪花君がその重責を辞することとお聞きしました。おのおの長年にわたりお務め御苦労さまでありました。本当にありがとうございました。

これからは悠々自適の生活をされるでしょうが、どうかお在籍時と同様のおつき合いを引き続き当局に対してお寄せいただきたいと思ひ、相変わらぬ御助言、御指導のほどを忘れないでよろしくをお願いいたします。さらに、あなた方の豊かな見識をそれぞれの地域で発揮してください。重ねてお願いを申し上げます。

今定例会に5名の方から一般質問をされました。その要旨は人口減少を地域課題としてのふるさと創生への提言だと思ひます。それらの提言に対して当局は真摯に捉えて、反映に向けて検討を重ねていただきたいと存じます。

気候も、寒さも和らぎめっきり春らしく、各地で桜開花宣言が報道されております。季節の変わり目、体調には大変変化があらわれると思ひます。どうか身体に十分気を配られ、決意を新たに新年度に向かって発進していただきたいと思ひます。

まことに簡単ではございますけれども、閉会の挨拶とします。ありがとうございました。

町長寺本君。

○町長（寺本眞一君） 議会の閉会に当たりまして一言御挨拶申し上げます。

3月9日に開会いたしました第1回定例会におきまして、議員の皆様には本会議並びに各委員会を通じて慎重な御審議をいただきましたことに心から感謝申し上げます。おかげをもちまして、平成27年度各会計の予算並びに26年度補正予算を初め、この間に一般会計においては一部不手際があり御迷惑をおかけしましたが、上程した議案の大部分を御可決いただきましたことに対しまして深甚なる感謝を申し上げる次第でございます。会期中にいただきました御意見等につきましては十分これを尊重し、よく検討しまして今後の町政運営をしていきたいと思ひます。

間もなく平成27年度が始まります。依然として厳しい経済情勢が続いておりますが、町の課題、問題の解決や地域活性に向けたさまざまな方向からの地域づくりなど、町民の皆様が安全に安心して暮らすことができる心豊かになるまちづくりを行うため、全力で邁進してまいりますので、町民の皆様、議員の各位の御協力をお願い申し上げます。

さて、開会の数日は寒さの戻りを思わせる寒い日が続いておりましたが、最近はやかい日が続いております。すっかり春めいた季節になってまいりました。そういう季節の中、ことしも今月21日、22日と、ご当地うまいもんフェスタ in 勝浦が開催されます。地域独特の料理のほか、ステージの催し物など、食と触れ合いを楽しむ人で大いににぎわうことと思われま

す。最後にありますが、議員の皆様におかれましては、時節柄健康に十分御留意いただき引き続き本町の発展のため御活躍いただきますよう祈念申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

那智勝浦町議会議長 森 本 隆 夫

会議録署名議員 荒 尾 典 男

会議録署名議員 蜷 川 勝 彦